1. 適用範囲

本書は、DF22 シリーズの挿入・抜去を行う際の手順について規定するものです。

2. コネクタ品名

品　　名	名　　称
DF22#-*P-7.92DS(A)	ヘッダー
DF22#-*EP-7.92C	中継プラグ
DF22B#-*EP-7.92A-3PRT	中継アダプタ
DF22#-*S-7.92C DF22S#-*S-7.92C	圧着ソケット
DF22#-*RS/P-7.92	リテーナー
DF22#-****SC(F)A	ソケット用圧着端子
DF22#-****PC(F)A	中継プラグ用圧着端子

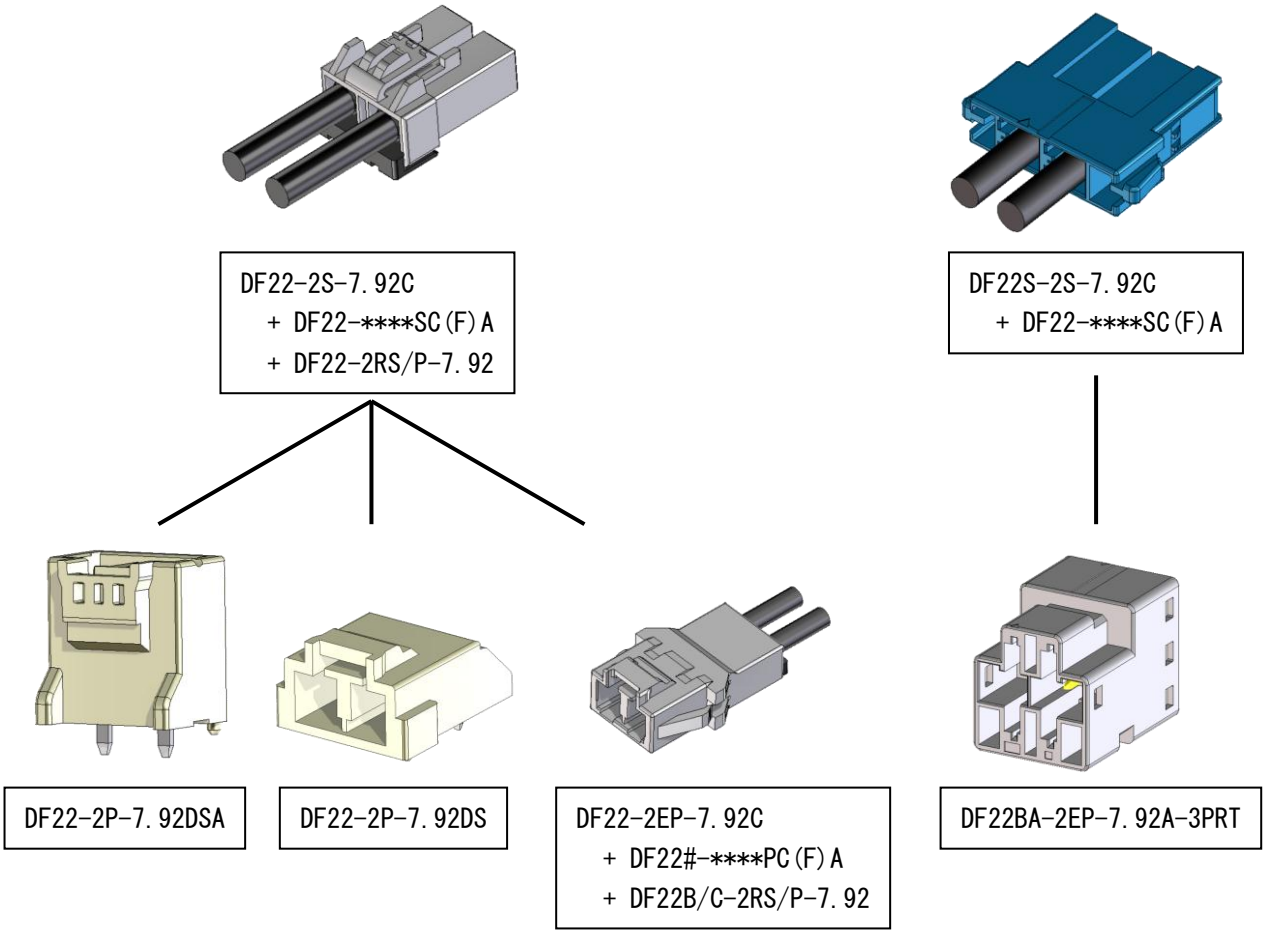


図 1. DF22 シリーズ

	COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
A	2	DIS-H-00023164	KT. NUMATA	TT. OHSAKO	20250509

名　称　TITLE

DF22 ｼﾘｰｽﾞ 挿抜手順書

HIROSE ELECTRIC CO., LTD.

APPROVED	SJ. OKAMURA	20210823
CHECKED	SZ. ONO	20210823
DESIGNED	TS. KUMAZAWA	20210820
WRITTEN	TS. KUMAZAWA	20210820

技 術 指 定 書　TECHNICAL SPECIFICATION	ATAD-H1025-00	A	1 / 7

FORM HC0011-9-1

Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

3. 作業手順

3-1. 挿入

3-1-a. 挿入位置合わせ

DF22#-*S-7.92C の場合

圧着ソケットとヘッダーおよび中継プラグのロック位置を目安に位置合わせをしてください。

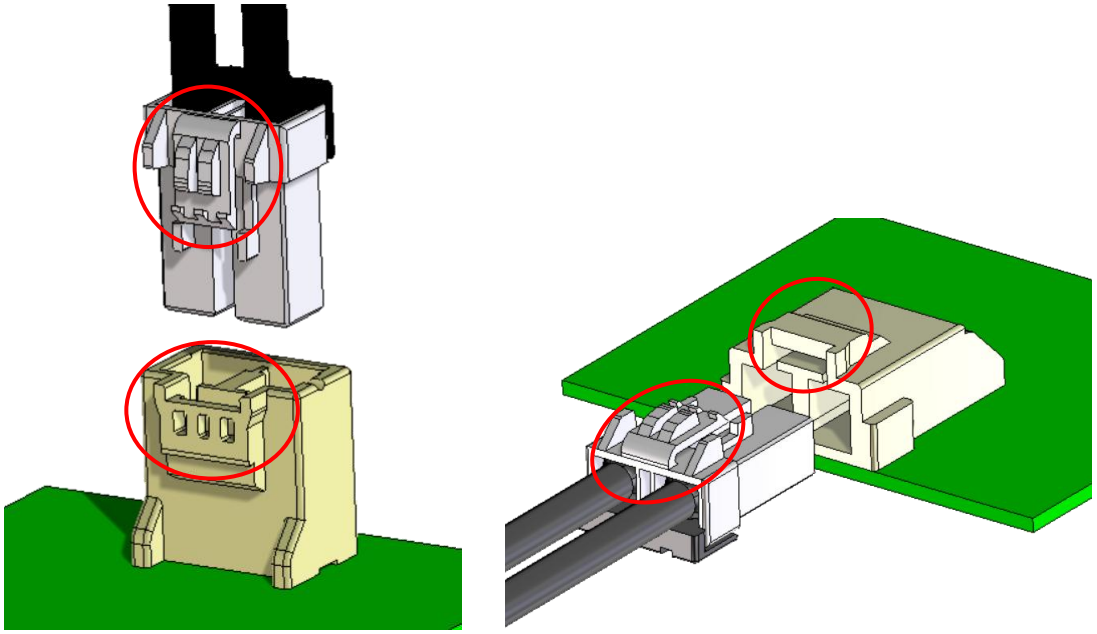
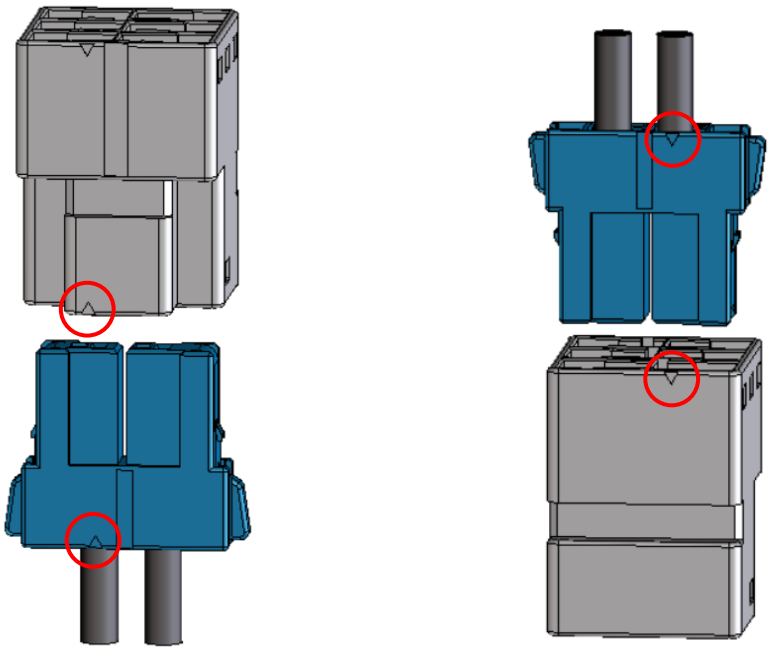


図 2. 挿入位置合わせ方法

DF22S#-*S-7.92C の場合

DF22S#-*S-7.92C を使用する場合は、図 3 の通り端子 No.1 マークが同じ面になるように向きを合わせてください。



1port 側　　3port 側

図 3. 挿入位置合わせ方法

Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

3-1-b. 挿入

：合わせた位置を保ちながら『カチッ』と音が鳴るまで挿入して下さい。

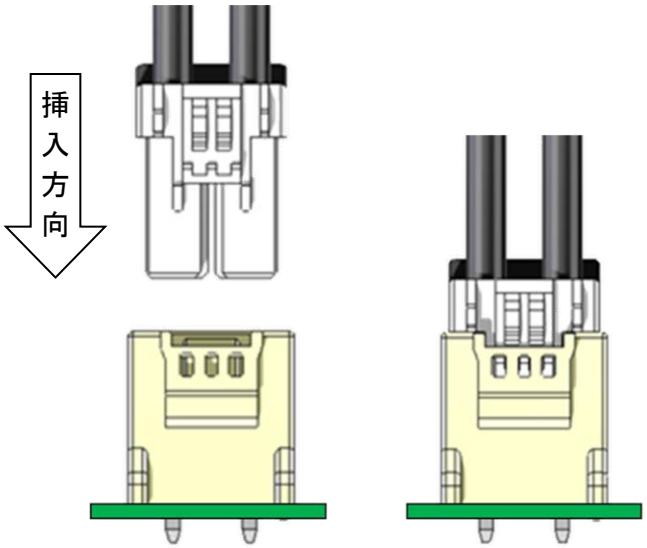


図 4. 挿入方法

3-1-c. 嵌合確認

：圧着ソケットが確実に嵌合されていることを確認下さい。

（ソケットのロックがヘッダーのロックに引っ掛っていることを、目視または
ケーブルを掴んで軽く引っ張って確認して下さい。）

嵌合の外し方は 3-2. 嵌合抜去をご確認下さい。

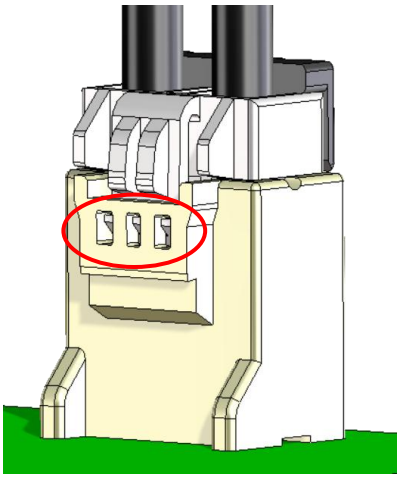


図 5. DF22#-*S-7.92C 嵌合状態

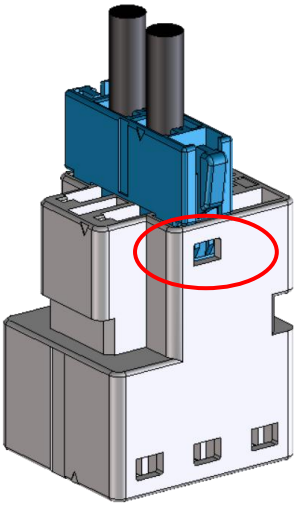


図 6. DF22S#-*S-7.92C 嵌合状態

Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

3-2. 嵌合抜去

3-2-a. 抜去

：ソケットのロックバネ押し込み部を指で押しながら、ロックが解除している状態で抜去して下さい。

注）ロックが引っ掛ったまま抜去すると、適切な抜去が行えません。

DF22#-*S-7.92C の場合

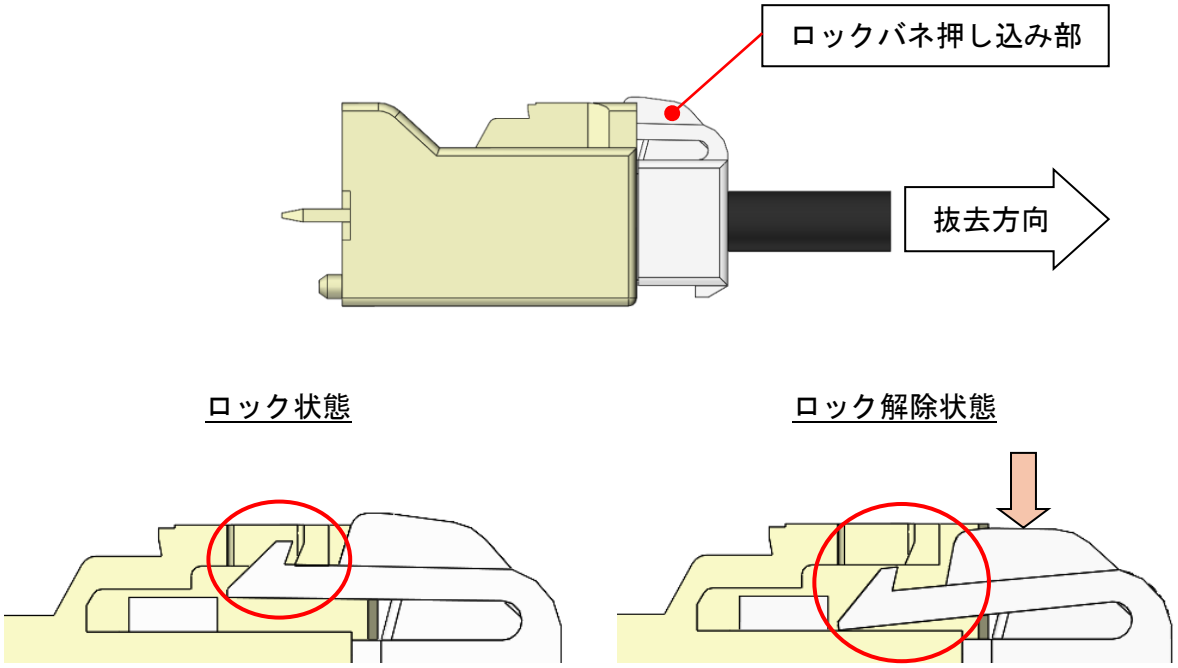


図 7. DF22#-*S-7.92C 嵌合抜去方法

DF22S#-*S-7.92C の場合

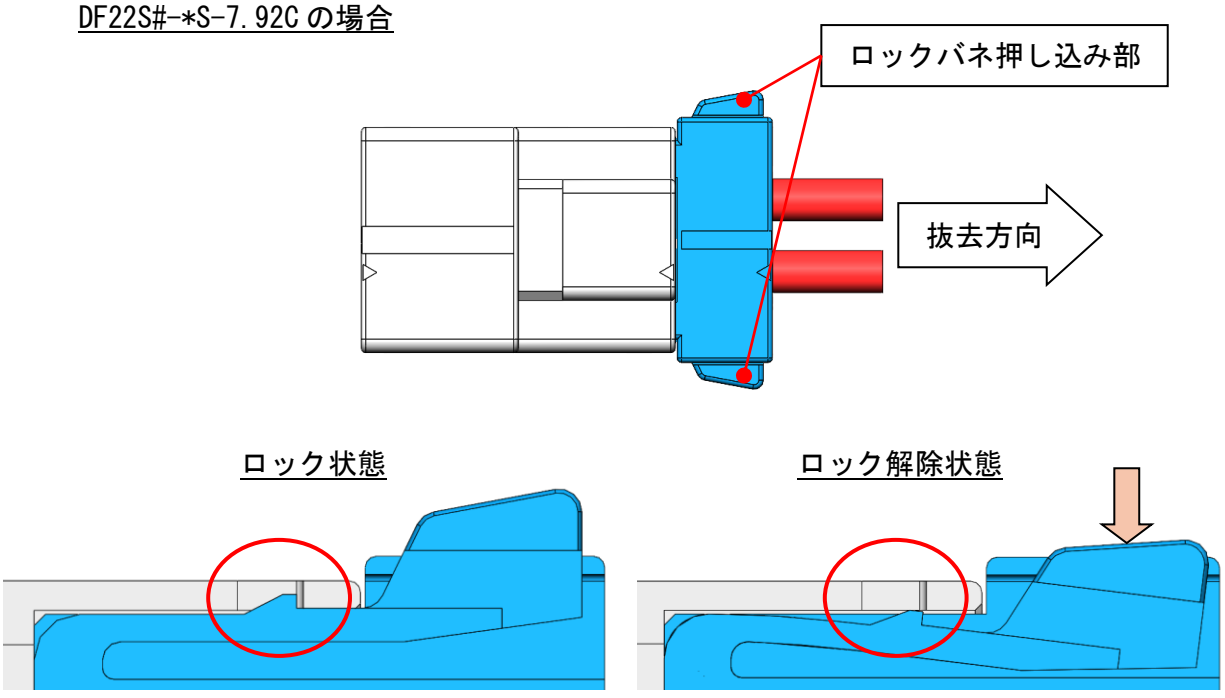
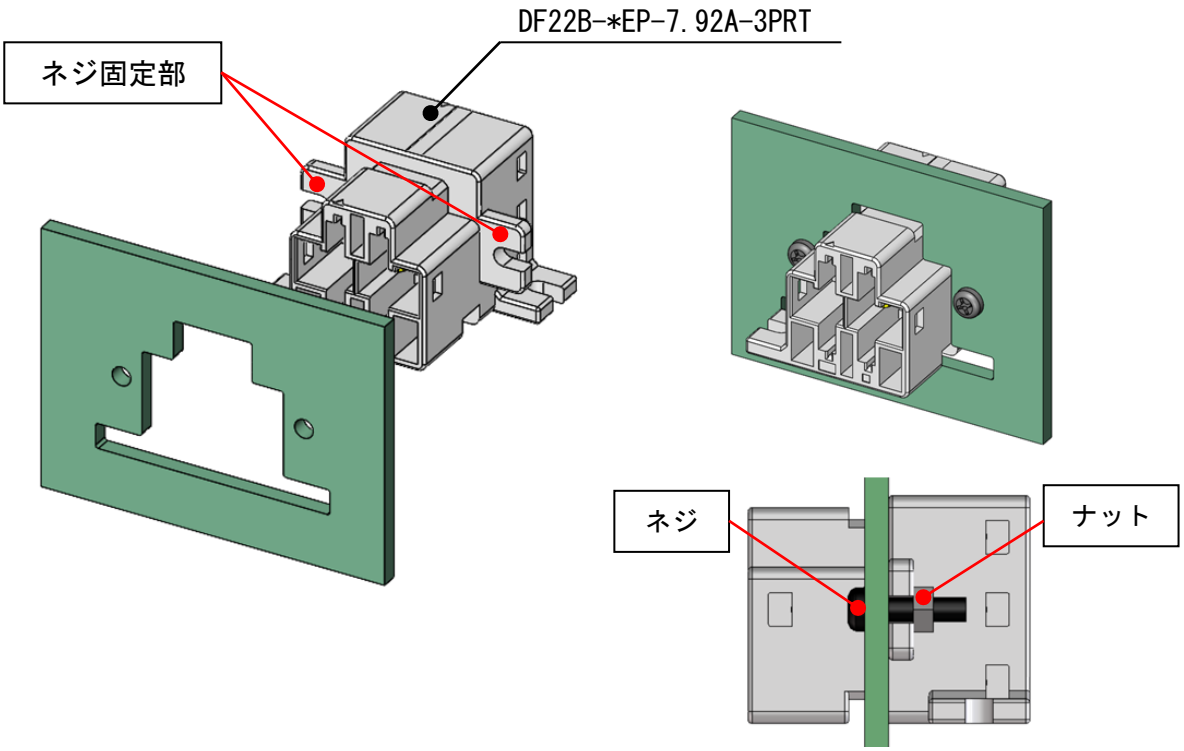


図 8. DF22S#-*S-7.92C 嵌合抜去方法

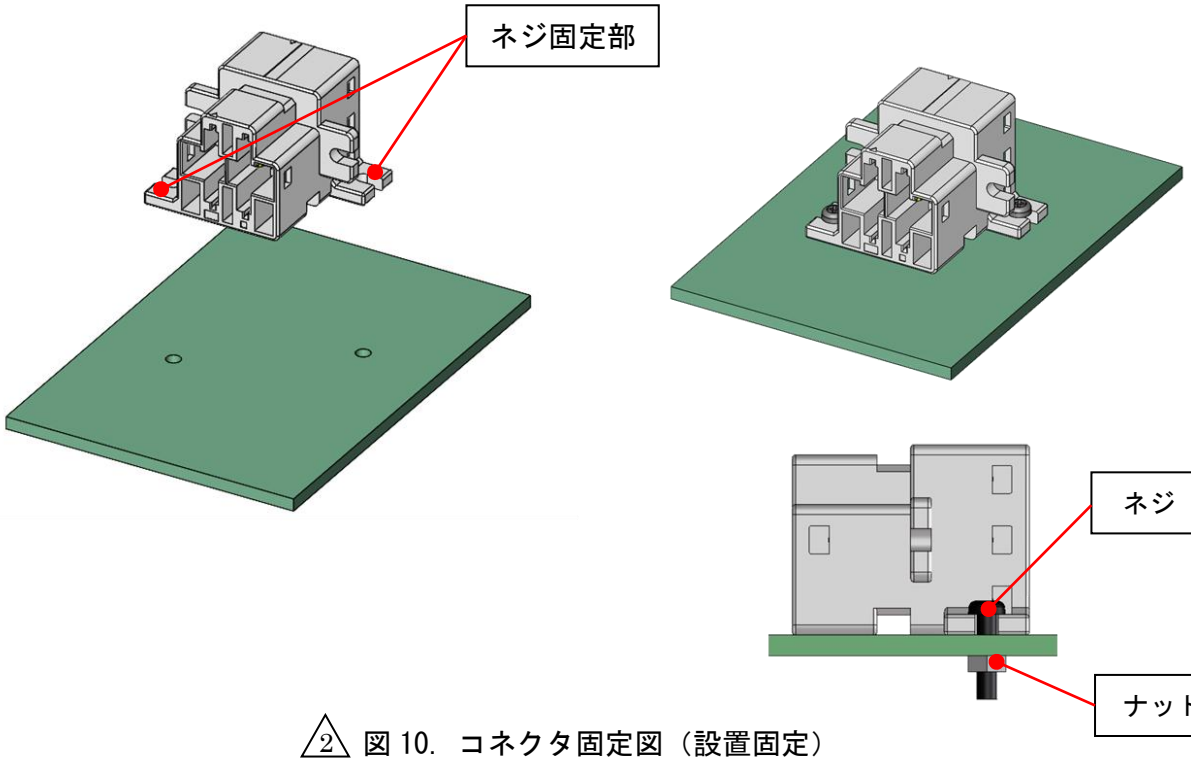
Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

4. コネクタ固定手順

下記の向きでコネクタをパネルに取り付け、ネジ、ナット（サイズ：M3）を締めて固定してください。　※ネジ締付推奨トルク：0.3～0.5N・m



△2 図 9.　コネクタ固定図（貫通固定）



△2 図 10.　コネクタ固定図（設置固定）

Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

5. 注意事項

・コネクタを挿入（抜去）する際は、圧着ソケットを嵌合相手に対して水平になるように挿入（抜去）してください。斜めに挿入（抜去）するとコネクタ根元に電線の負荷が加わり、コネクタ（ソケット、ヘッダーケース,プラグケース、端子接触部等）を変形させる恐れがあります。また、コネクタが変形したままのご使用は、過大な発熱により、焼損に至る恐れがあります。

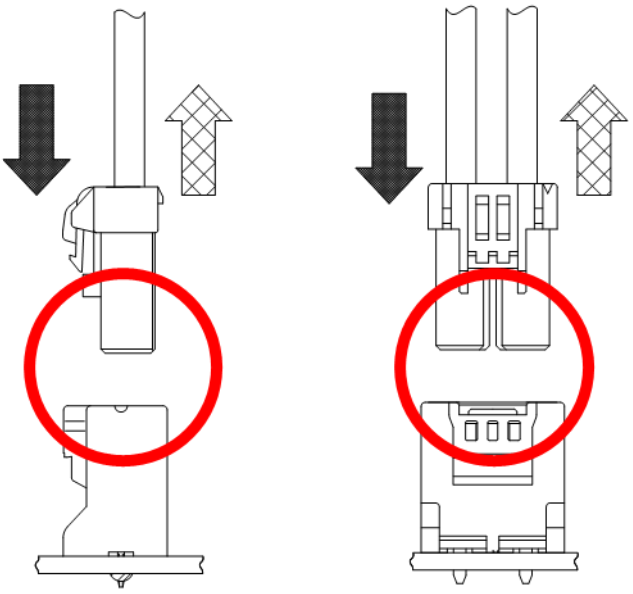


図 11. 挿抜方法

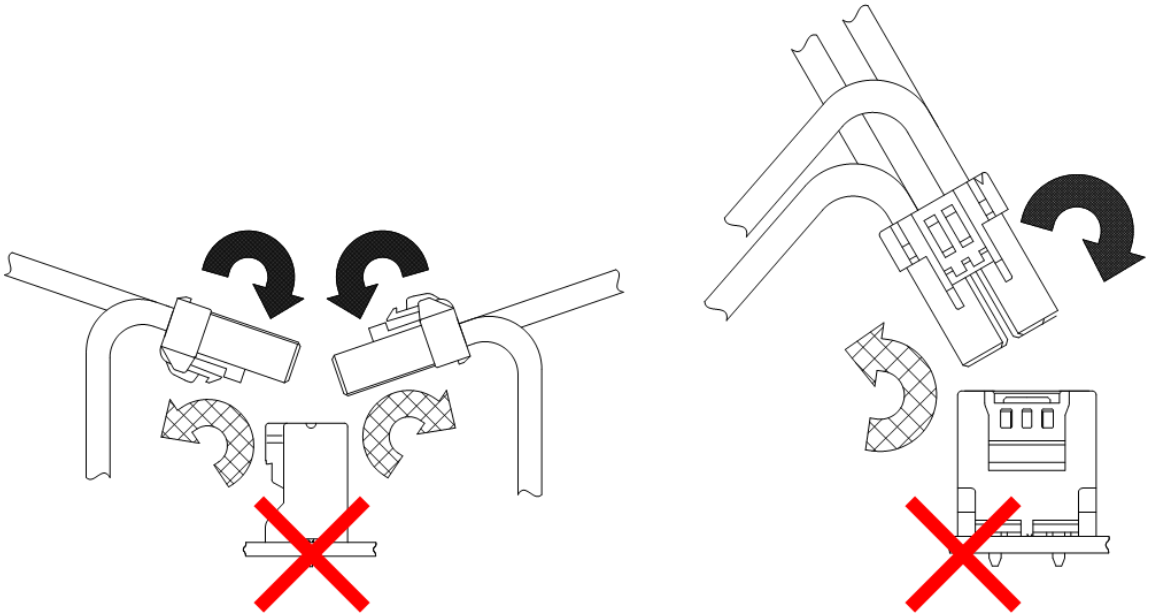


図 12. 禁止挿抜方法 1

・コネクタを抜去する際に、無理に引き抜こうとしますと、コネクタを破損する恐れがありますので、抜き難い時は、一度軽く押し込んでからロックを操作して抜くようにしてください。

Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

・品質に悪影響を与える恐れがありますので、ケーブルを束ねて圧着ソケットに負荷をかけながらの挿抜は行わないで下さい。

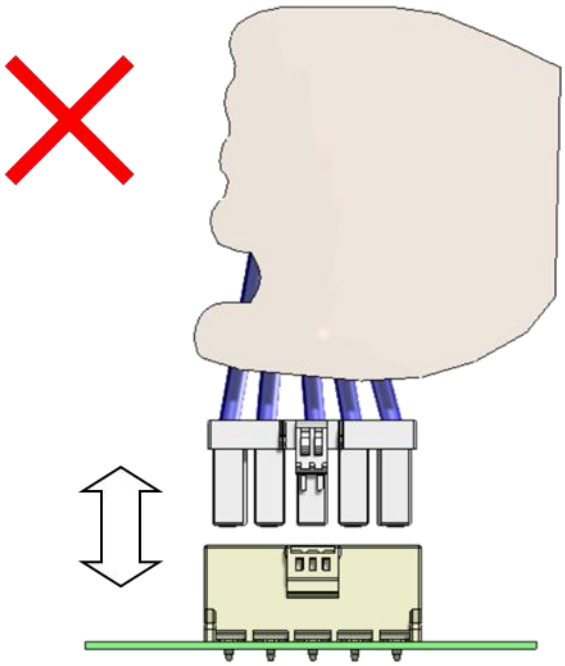


図 13.　禁止挿抜方法２

・電気を流したまま挿抜は行わないでください。
・コネクタに過大な外力が加わりますと、障害や破損を引き起こす場合がありますので、無理な挿抜、落下衝撃、無理なケーブルの引っ張りや引き回しがないようにご配慮ください。

・下図のようなロック部を引っ張る作業は行わないでください。ロック部が破損する恐れがあります。

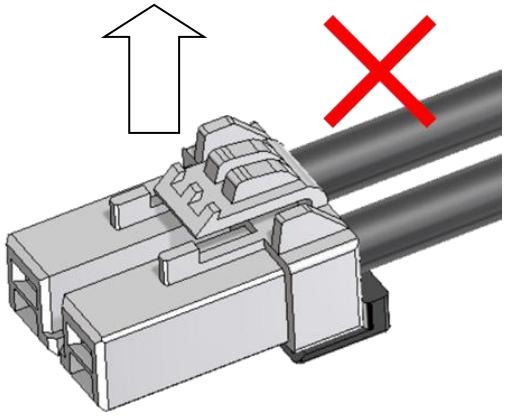


図 14.　禁止作業（未嵌合状態）

Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.